

# 京丹後市の総合文化政策への提案

縮小社会とジェンダー問題の解決のために

R7/6/5

藤野一夫（アドヴァイザー）

# 文化政策は縮小社会とジェンダー問題に寄与できるのか？

- 2024年の出生数 68万人 ベビーブーム世代の4分の1
  - 年金・社会保険・医療福祉の財源問題、公共施設のリストラ
  - 文化予算の削減（総合政策による価値転換へ）、地域交通の縮減…
- 地方から大都市圏に進学・就職等で移動した女性の大半が出身地に戻らない
  - 若い女性に選ばれる魅力的な地方（都市・農漁村）が少ない
- 結婚生活への憧れ・魅力が少ない
  - 地方部では女性がリーダーとなることを嫌う気風が強い。女性が輝ける（能力を活かせる）職業・活躍の場が少ない。
  - 女性活躍比率が高い職場：文化芸術、教育、観光、医療福祉…

# 総合文化政策のための3つの提案（1）

- 地方都市の文化政策の基本は市民文化活動の支援
- 1. 従来の文化支援施策を他分野とリンクさせることで総合政策の重点に文化政策を据え、予算とマンパワーを増強
- 生涯学習→健康長寿社会としてのウェル・ビーイングに寄与  
音楽・ダンス・演劇が認知症等の予防・緩和・共生に貢献
- 高齢者の文化活動による医療費削減効果は実証済（WHO）
- 通院と薬と介護で維持する長寿社会から、文化的つながりで健康を維持する真の健康長寿社会への転換（地域包括ケアの新展開）
- 社会的処方推進するリンクワーカー（主に保健師）と文化的処方推進するアートコーディネーターの緊密な連携が目標
- 養父市の取組：（公財）医療文化経済グローバル研究所(MCE)の先進性

# 総合文化政策のための3つの提案（2）

## 2. アートツーリズムによる交流人口の拡大(文化観光戦略+市民参加)

- ・アートプロジェクトによる地域固有の文化・自然・産業資源の再発見  
→まちの面としてのひりがりをつながり
- ・アートマネジャー・観光関係者の雇用と観光者拡大の両面で女性にとっての魅力創出

## 3. 各種文化施設の活性化とネットワーク化（市民参加＋文化観光）

- ・個別施設ごとではなく、文化施設相互のつながりを重視したミッションの再定義  
→グランドデザインとマスタープランの構築

課題：提案1～3を横串してデザイン、ディレクションする組織をどのようにつくるか？  
現在の文化芸術振興審議会？推進会議？トップダウン？政治決断が必要？